



# ぼうさいあいち

会報28号 (秋だより)

発行日 令和4年10月24日  
特定非営利活動法人  
愛知県防災士会

## 「防災の日に思う」

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は愛知県防災士会の活動に格別なご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス「第7派」により、感染者の爆発的増加で1日の新感染者数が多い地域で最多を更新し、全国で20万人を超える日が多くあり、厚生労働省は4回目接種の対象となっている高齢者・医療従事者などへ新型コロナウイルスのオミクロン株対応のワクチン接種を新製品に切り替えることになりました。

「第8波」に備えての対策が進められています。

さて、9月1日は「防災の日」、皆様もご存じのとおり、1923年9月1日発生した関東大震災により、「災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備する」ために、1960年に制定されました。

今春から「地理総合」が高校生の必須科目になったと、中日新聞に記事が掲載されました。背景には従来では考えられない、災害の多発化、激甚化があり、「過去を学び」発生した災害を教訓に自然災害の怖さを知り、命を守るため、自ら置かれた状況や実情に合わせ、最善な行動が出来るように、「地理総合」に見込まれている学習の在り方にほかにないと、締めくくられています。

愛知県防災士会も「過去の災害に学び」少しでも多くの方に災害時の防災意識を高める啓蒙活動を続けてまいります。



NPO 法人  
愛知県防災士会  
理事長 寺島一徳

## 名古屋大学 福和伸夫教授の最終講義

防災士 石垣辰夫



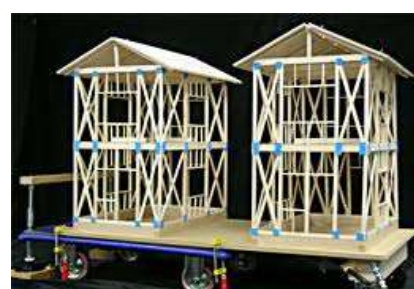
日時：令和4年3月11日（金）午前10:20～12時（講義時間10:30～12時）

会場：名古屋大学豊田講堂ホール（ホール座席指定）  
対面開催 350名・オンライン 550名＝900名  
内、豊田講堂へ防災士の方も参加されていました。

講師：名古屋大学 福和伸夫教授

講義題目：知彼知己者百戦不殆で転禍為副

参加者：大学教員、行政、メディア、学生、名大事務、建築関係、コンサル、ライフライン、経済界、防災人材  
講義資料・教材①冊子、知彼知己者百戦不殆で転禍為副②冊子2冊、次の震災・必ずくる震災③MAGICぶるる④箱ぶるるマグネット付き⑤新教材砂場ぶるる



【振動実験教材・ぶるるくん】

コロナ対策：体温37.5度以下の方、マスク着用、手洗い、手指消毒、咳エチケット、会場内で大声の会話は控えること等。

名古屋大学にて長年教鞭をとってこられた福和伸夫教授は、今年度で定年退職されます。退職に際し最終講義を開催されました。

最終講義は、名古屋大学での31年間の教員生活を建築耐震、建築設計、行政、防災減災活動の基本等を多岐にわたりパワーポイント資料に基づいて解説されました。



### 【最終講義内容】

- ①大学での活動歩み、20代から60代
- ②阪神淡路大震災、東日本大震災、南海トラフ巨大地震で、大学への異動と阪神大地震で人生が変わった。
- ③基本的なスタイル、つくり（創生）、つなげ（紡展）、つづける（持続）
- ④名古屋大学での学内対応、地下鉄・高速道路振動対策、学内耐震対策、環境対策、減災連携研究センター設立。
- ⑤つなぐ：相互作用⇒連携⇒共創、アナリシスとシンセシス・サイエンスとテクノロジー・テクノロジーとカルチャー

- ⑥耐震化から南海トラフ地震対策、社会と力を合わせて地震を乗り越え未来を共創
- ⑦南海トラフ地震臨時情報 3/11 夜 NHK ナビゲーションに出演、逃げなくてよい家！
- ⑧知彼知己者百戦不殆で転禍為副（社会）安全な社会を作るために皆で力を合わせたい。
- ⑨あ・た・まで夢を描き未来を拓く。社会の新たな潮流を防災で活用
- ⑩残された課題、耐震基準の適正化・臨時情報の普及と活用・中部県の防災拠点の整備・地域主体の官民連携による未来創造。自由な立場で社会と共に活動していきます。
- ⑪社会との連携：あいち・なごや強靱化共創センター長 名古屋大学福和伸夫
- ⑫防災減災対策の研究と人材育成などに力を尽くす。



豊田講堂 2 階から撮影 1 列おきに指定席



名古屋大学豊田講堂（登録有形文化財）



マイホームぶるる・免震ウェブサイト



ぶるるくん（名古屋大学）

★福和教授からのお礼メール 2022/03/12 土 07:47

最終講義にお出かけいただいた皆様へ



昨日は、お忙しい中、私の最終講義にお出かけいただき誠にありがとうございました。皆様のおかげで、何とか現役生活を終えることができます。

名大の人間にとって最も大切な豊田講堂で、皆様のお顔を拝見しながらお話しさせて頂くことができ、大変幸せな気持ちになりました。改めてお礼申し上げます。

ご参加いただいた全ての方と直接ご挨拶をさせて頂きたかったのですが、講義前後の限られた時間だったため、ご挨拶できなかった方もいらっしゃいます。失礼をお許し下さい。

これからは、より自由な立場で、防災・減災のため、活動を続けていきたいと思っております。きっと、今後にご迷惑をおかけすると思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本当にありがとうございました。

名古屋大学減災連携研究センター 福和伸夫  
052-789-3757 FAX 052-789-3768 [fukuwa@nagoya-u.jp](mailto:fukuwa@nagoya-u.jp)



名古屋大学豊田講堂全景 ➡  
入学式・卒業式の会場



# 減災と復興～明治村が語る関東大震災 石垣辰夫

(名古屋大学武村教授と行く明治村の野外研修会)

日時：令和4年9月27日(火) 午前9時50分～16時

開催場所：博物館明治村 集合場所：北口駐車場前(入場入口)

講師：武村雅之氏 名古屋大学減災連携研究センター特任教授(地震学) 関東大震災研究の第一人者・中央防災会議専門委員等

野外研修会：関東大震災の被災地にあった構造物を講師が解説しながら散策する。

構造物：明治村には67の構造物、内24が関東大震災の被災地にあったものである。

<行程>北口から入園後→5丁目(徒歩)→昼食50分 食道楽カフェ→4～3丁目(徒歩)→市電(品川灯台)→市電名古屋駅→北口(徒歩)・土産物店→北口にて解散

## ★立寄った構造物の野外研修会

- ・帝国ホテル中央玄関、2階喫茶室でミーティング
- ・東京駅警備巡查派出所
- ・隅田川新大橋
- ・川崎銀行本店外から、大明寺聖パウロ教会堂
- ・聖サビエル天主堂
- ・三条教会、本郷喜一床屋(外から)
- ・工部省品川硝子製造所
- ・日本赤十字社中央病院棟
- ・鉄道寮新橋工場、内部機械室「みのくち式渦巻ポンプ」
- ・北里研究所本館・医学館
- ・西園寺公望別邸「坐漁荘」
- ・品川燈台
- ・森鷗外・夏目漱石住宅外から



【講師：名古屋大学 武村雅之教授】



↑帝国ホテル中央玄関2階喫茶室 ・ 東京駅警備巡查派出所↑震災当日尋ね人ビラ貼る



↑ 隅田川新大橋（お助け橋）



↑ 工部省品川硝子製造所



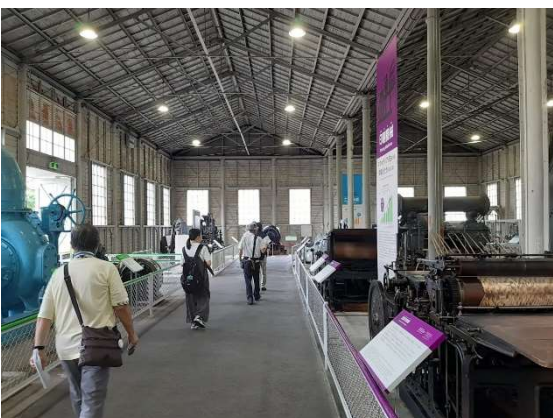
↑ 日本赤十字社中央病院病棟



↑ 北里研究所本館・医学館



← 西園寺公望別邸・坐漁荘



← 鉄道寮新橋工場内部機械室

**★ 構造物写真の全て国・登録有形文化財です！**



↑ 品川燈台